

彦根東 4-1 近江

赤鬼 4年ぶりの甲子園出場決定

私たちの新たな挑戦が始まる



決勝戦 ①



▲真っ赤に染まった本校側の応援席

主将の松井拓真君(3-1-5)は「これまでの経験を信じて、いつも通りでいることを大切にした」と試合前の心境を話した。甲子園出場が決定した

監督の村中隆之先生は4年ぶりの甲子園出場が決定したときの感想を「最初はうれしかったが現実感がない。目の前の試合を一つひとつ取り組んできた。本当に選手がよくやってくれたと思う」と話された。最後に応援してくれた



速報新聞

キマグレ

発行所
彦根東高等学校

新聞部
彦根市金亀町4番7号



瞬間を「一気持ちが抑えられず、喜びを通り越すほどにうれしかった」と笑顔を見せた。今回の大会を通して「春からチーム一丸となっ



▲優勝旗を受け取る主将の松井君

てさらに成長してきた。すべての力を出し切れたのが今大会の勝因だと思ふ」と振り返った。甲子園に向けては「とりあえず一回落ち着いて、すべての試合を勝ち抜く気持ちで臨みたい」と意気込んだ。

赤鬼の夏



彦根東高校は彦根藩の精神「赤鬼魂」を伝統としています。新聞部では野球部の今年の夏の甲子園出場をシリーズ『赤鬼の夏 再び』と題し、お伝えしていく予定です。(題字は野球部監督の村中先生)